

## 経営企画課の目標（平成25年度）自己評価書

経営企画課長 大崎 智行

達成度：H26.3.31の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 総合計画の進行管理（企画総合調整班）</b></p> <p>第5次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画において予め設定した戦略的・重点的に取り組む成果指標の達成状況について把握するとともに、実施計画を毎年見直し、施策を効果的に実施するための進行管理を行います。</p>	4	<p>第5次酒々井町総合計画前期基本計画に掲げる主な事業・施策の進捗状況や達成度を把握し数値化することで、毎年継続的な見直しや改善を図り、事業の効率的な推進に努めました。</p>
<p><b>2 町マスコットキャラクターの活用（企画総合調整班）</b></p> <p>町のブランド力を高める魅力づくりや「郷土・酒々井」に愛着と誇りを持ち、住んでよかったと思える、満足度の高い自立したまちづくりを進めていくため、その推進役となる町マスコットキャラクター「井戸っこ（しすいちゃん）」を積極的に活用することで、町民の郷土愛を育むとともに町のイメージアップを図っていきます。</p>	4	<p>町マスコットキャラクターを活用し、町内外のイベント等に参加し、酒々井町のPR活動を積極的に行いました。</p> <p>町内保育園や小・中学校の子どもたちの参加するイベントにおいても、積極的にふれあうなどし、未来の酒々井町を担う子どもたちの「郷土愛」を醸成するとともに、町民の郷土愛を育み、町のイメージアップの一助となりました。</p>
<p><b>3 地域資源の活用に関する検討（企画総合調整班）</b></p> <p>東関東酒々井インターチェンジの開通とアウトレット・モールの開業を好機ととらえ、町の地域資源を積極的に活用し、地域の活性化を図るため、アウトレット・モールと町内の地域資源を結びつける方策等を創出するための検討を行います。</p>	4	<p>地域資源の活用に関する検討会議により、アウトレット・モールと町内の地域資源を活用する方策を検討する中で提言した観光資源調査が行われ、町総合観光パンフレット「酒々井町じゃらん」が創刊されました。</p>



個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>6 各種統計調査の実施（広報広聴班）</p> <p>1）今年度は、「住宅・土地統計調査」、「商業統計調査」「工業統計調査」が実施されます。いずれも調査員の役割は重要であるため、人員の確保と的確かつ正確な統計結果を得られるよう引き続き指導に努めていきます。</p> <p>2）現在、調査員の高齢化等の問題もあり、平成27年度に予定される国勢調査に向けて調査員を確保するため、新たな人選に努めていきます。</p>	4	<p>各統計調査は、調査員、指導員をはじめ、関係者の協力により無事に終了することができました。</p> <p>また、新たに2名を調査員として確保することができました。</p> <p>本年度は、「経済センサス・基礎調査・商業統計調査」、「全国消費実態調査」、「農林業センサス」、「工業統計調査」の4つの統計調査が実施されるほか、国勢調査を翌年に控え、その準備作業が始まります。</p> <p>引き続き調査員等の人員確保と正確な統計調査を実施できるよう努めてまいります。</p>

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>7 チャレンジ目標</b></p> <p>『町プロモーション活動の推進』</p> <p>酒々井町は、緑豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、史跡や神社・仏閣などが多い歴史のある町であるとともに、公共交通機能も整い住環境に恵まれた魅力あるコンパクトな町でもあります。</p> <p>東関東酒々井インターチェンジの開通や酒々井プレミアム・アウトレットを核とした酒々井南部地区新産業団地の街びらきなどにより、酒々井町の注目度が高まりつつあり、「酒々井町」を全国的に情報発信するために、各関係機関・団体やメディアなど各方面へのプロモーション活動の方策等について検討を行いながら、具体的に取組んでいきます。</p>	4	<p>東関東自動車道酒々井インターチェンジの開通と酒々井プレミアム・アウトレットの開業等のセレモニーなどを中心に、テレビなど各種メディアに報道され、「酒々井町」の知名度は飛躍的に高まることとなりました。</p> <p>また、「全国ゆるキャラサミット」や「町イチ！村イチ！2014」などの各種イベントに参加し、町マスコットキャラクターを積極的に活用することで、認知度向上や郷土愛向上に相乗効果が出ています。</p> <p>年度末には、成田国際空港株式会社と意見交換を行い、成田国際空港との間で連携の強化を図ることといたしました。</p>